

2024年4月19日

報道関係各位

GMO インターネットグループ株式会社

GMO インターネットグループ、NVIDIA H200 Tensor コア GPU を採用した生成 AI 向けの GPU クラウドサービスを国内最速提供へ ～経済産業省による「クラウドプログラム」の供給確保計画の認定～

GMO インターネットグループ株式会社（代表取締役グループ代表：熊谷 正寿 以下、GMO インターネットグループ）は、2024年4月15日（月）に経済安全保障推進法に基づく特定重要物資である「クラウドプログラム」^(※1)の供給確保計画に関する経済産業省の認定を受けました。GMO インターネットグループでは、「AI で未来を創る No.1 企業グループへ」をキャッチコピーに掲げており、日本の AI 産業の拡大のため、生成 AI の基盤となるクラウドインフラの提供に向けて、約 100 億円規模^(※2)の GPU サーバーへの投資をします。

国内のホスティング事業者としていち早く 2024 年 12 月を目途に、「NVIDIA H200 Tensor コア GPU(以下、NVIDIA H200 GPU)」^(※3)を採用した超高速な GPU クラウドサービスの提供を予定しています。

(※1) 経済安全保障推進法に基づく「特定重要物資の安定的な供給の確保」について：

https://www.meti.go.jp/policy/economy/economic_security/cloud/index.html

(※2) 固定資産（GPU サーバー）の取得に関するお知らせ：https://www.gmo.jp/ir_news/article/745/

(※3) メモリ容量は NVIDIA H100 Tensor コア GPU の約 1.7 倍（80GB から 141GB）、メモリバス帯域幅は HBM3e 採用により H100 の約 1.4 倍（3.35TB/s から 4.8TB/s）に拡大



【「NVIDIA H200 GPU」を採用した GPU クラウドサービスを提供】

このたび経済産業省から認定を受けた計画は、上記の生成 AI 向けの GPU クラウドサービス提供に関するものです。GMO インターネットグループでは、大規模言語モデルの開発・研究者向けに GPU メモリ容量とメモリバス帯域幅を大幅に拡大・最適化された「NVIDIA H200 GPU」を約 800 基採用した GPU サーバーをクラウド環境で構築し、日本国内の AI 産業の発展のため、研究開発機関やスタートアップを始めとした法人などへ幅広く提供していく予定です。さらに、米 NVIDIA 社のサポートを受け、マルチ GPU 間での超低レイテンシと超高帯域幅を特徴とする「NVIDIA H200 GPU」のパフォーマンスを最大限に活かすための推奨構成を採用し、超高速で費用対効果の高い GPU クラウドサービスの提供を計画しています。この計算環境の構築に関わる設備投資額は、合計約 100 億円を見込んでいます。今回、経済産業省からは、最大 19.25 億円の助成を受ける予定です。

GMO インターネットグループは、このサービスの提供を通じて、生成 AI における大規模言語モデル等の開発期間の大幅な短縮と開発費の削減を実現し、国内 AI 産業のさらなる発展に貢献してまいります。

<代表取締役グループ代表 熊谷 正寿のコメント>

GMO インターネットグループのホスティングサービスは国内法人や事業所の約半数にご利用いただき、インターネット上の情報量、ホームページの数を飛躍的に増やしてきた実績を持っています。この成長の礎の上に、生成 AI の基盤となるクラウドインフラの提供に向けて約 100 億円を投資する決意を新たにしました。NVIDIA 社の支援を受け、最新の GPU を日本国内でいち早く皆様に提供することを目標としております。これにより、国内 AI 産業の革新及び拡大に向けて、より大きな一歩を踏み出すことに貢献していく所存です。



GMO インターネットグループは、インターネットを通じたイノベーションの創出に向けた長年の取り組みを通じて培った知見と技術を活かし、AI 時代のニーズに応える高品質なサービスを提供することで、社会のさらなる進化に寄与して参ります。

<エヌビディア合同会社 日本代表 兼 米国本社副社長 大崎 真孝 氏のエンドースメント>

大規模な言語モデルに取り組む開発者や研究者は、高性能なアクセラレーテッド コンピューティング環境から大きな効果を得ることができます。GMO インターネットグループ様は、NVIDIA H200 GPU を用いたリファレンス アーキテクチャを採用する日本初のクラウドサービスプロバイダー パートナーです。本協業により、生成 AI の開発を加速し、国内において AI を活用した様々な産業の活性化に貢献できると確信しています。



【GPU クラウドサービスについて】

GMO インターネットグループの GPU クラウドサービスは、毎秒 4.8 テラバイト (TB/s) で 141 ギガバイト (GB) の HBM3e メモリを提供する初の GPU である「NVIDIA H200 GPU」を搭載予定です。これは、「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」の約 1.7 倍の容量で、メモリ帯域幅は約 1.4 倍です。

「NVIDIA H200 GPU」の大容量かつ高速なメモリは、生成 AI と LLM の開発効率を向上・開発コストを低減し、生成 AI モデルの開発力を底上げします。



▲NVIDIA H200 Tensor コア GPU

■サーバースペック (予定)

GPU カード	NVIDIA H200 Tensor コア GPU
搭載 GPU 枚数	GPU x 8

CPU	56 コア x 2
メモリ	2,000GB
GPU メモリ搭載	1,128GB
ローカルストレージ	15,000GiB
共有ストレージオプション	最大 477TiB
共用グローバル回線	10 Gbps
マルチ GPU 用インターコネクト	3,200(400 x 8) Gbps

■本サービスに関するお問い合わせ先

お問い合わせの受付を 2024 年 4 月 19 日（金）より開始いたします。以下のメールアドレスにお問い合わせください。

GMO インターネットグループ株式会社
ドメイン・ホスティング事業本部
E-mail : aicloud@gmo.jp

【GMO インターネットグループの AI 関連の取り組み】 (URL : <https://www.gmo.jp/ai-history/>)

GMO インターネットグループは、「AI で未来を創るナンバー 1 企業グループへ」を掲げ、① 時間とコストの節約、② 既存サービスの質向上、③ AI 産業への新サービス提供を軸に、グループ全パートナーを挙げて AI の活用、AI 関連サービスの提供を進めています。

①時間とコストの節約

2023 年度には賞金総額 1,000 万円の社内公募コンテスト「AI（愛）しあおうぜ！ ChatGPT 業務活用コンテスト」を実施しました。AI に関する取り組みや新サービスへつながる作品が集まり、多くが実際のサービスに実装されています。

また、全員受講必須の定期的な AI セミナーを開催。2024 年からは、非エンジニア向けのリスキリング施策として AI 人財育成プログラム「虎の穴」を実施しています。

(<https://www.gmo.jp/news/article/8802/>)

②既存サービスの質向上

生成 AI による文章や画像の生成など、既存サービスに AI を組み込むことにより、ドメイン、ホスティング、EC、広告、メディア、セキュリティなど幅広い領域でお客様にこれまで以上に利便性の高いサービスをご提供しています。

③AI 産業への新サービス提供

AI 産業をさらに拡大するための支援を進めています。

- 2023 年 5 月 24 日に、ハンズオン型 CVC「GMO Web3 株式会社」を、「GMO AI&Web3 株式会社」へと社名変更し AI スタートアップ支援を拡大しています。すでに、有望な AI スタートアップへの支援を実施しています。

- ドメイン登録サービス「お名前.com byGMO」にて、「.ai」ドメインの提供。
(<https://www.onamae.com/service/domain/ai/>)
- AI 専門家とともに「GMO 教えて AI 株式会社」を設立し、生成 AI プロンプトポータルサイト「教えて AI byGMO」を開始しました。(<https://oshiete.ai/>)
- 簡単に使える超高速 VPS『ConoHa VPS』にて、NVIDIA 社の GPU「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」「NVIDIA L4 Tensor コア GPU」を搭載した AI 開発者向けの GPU ホスティングサービスを開始しました。(<https://www.conoha.jp/>)
- 2023 年 12 月に「NVIDIA Partner Network」に参画し、GPU の国内普及に取り組んでまいります。(<https://www.gmo.jp/news/article/8720/>)
- GMO インターネットグループは、日本の AI 産業の拡大のため、GPU ホスティングサービスをさらに強化すべく、経済安全保障推進法に基づく特定重要物資である「クラウドプログラム」の供給確保計画に関する経済産業省の認定を受けました。また、生成 AI の基盤となるクラウドインフラの提供に向けて、100 億円規模の GPU サーバーを取得することとしました。
(https://www.gmo.jp/ir_news/article/745/)

【GMO インターネットグループについて】

GMO インターネットグループは、ドメインからセキュリティ、決済までビジネスの基盤となるサービスをご提供するインターネットインフラ事業を軸に、インターネット広告・メディア事業、インターネット金融事業、暗号資産事業を展開する総合インターネットグループです。

お客様に喜ばれるサービスを迅速かつ低価格で提供するために、サービスは機器の選定から設置、構築、開発、運用までを内製化することを基本方針としています。そのため、グループ 106 社に在籍する約 7,400 名のパートナーのうち、IT のモノづくりを担う開発者（エンジニア・クリエイター）が半数を超える 50.1%を占めています。^(※4)

(※4) 2023 年 12 月末時点

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネットグループ株式会社
 本体事業管理本部 広報担当 川縁
 TEL : 03-5456-2555 E-mail : pr@gmo.jp
- GMO インターネットグループ株式会社
 グループコミュニケーション部 広報担当 新野
 TEL : 03-5456-2695 URL : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO インターネットグループ株式会社
 ドメイン・ホスティング事業本部
 E-mail : aidcloud@gmo.jp

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード:9449)	
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー	
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿	
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業	■インターネット広告・メディア事業
	■インターネット金融事業	■暗号資産事業
資 本 金	50 億円	

Copyright (C) 2024 GMO Internet Group, Inc. All Rights Reserved.